伊勢

新百韻

全

中村俊定文庫
文庫 18
135

俳諧條々

紙魚巣

一 好悪ハ時の調よりて定事
一 詠たるハ人々の生涯なるへからす
一 人のまねこそ甚うき事
一 稀ちかきより淡く醜へかならす
一 すらゝかの處より分別ある事

右は作者はかの南呂亭こと石谷[illegible]
[illegible]
[illegible]

月日

中川乙由
星山及朱

宗福田文庫

漫興

風乃一日吹くとも[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

園友

乙由
及止
及朱
[illegible]

中村俊定文庫

時雨れ枯海棠み空紅乃月　水南

風流やくさ〻ゆさぶる菊芳

うちつゝ山に見れかゝ紅葉由

人〻と紅葉〻〻ぶとゝ友

菊酒とゝ流れいかゝ門に海く　止

商乃流のロ〻ロ〻ロ〻ロ〻る　朱

一里ばかり〻〻〻〻あり　在

男菊ゝ流れ流所〻〻〻〻　南

菊の白ゝさらん雲〻〻海菊〻〻　友

秋菊ゝ〻〻〻〻〻露ゝ日後　由

男菊籠掛〻〻野山ゝ〻〻〻野の雪　芳

ゝゝ前ゝゝ〻ゝ日〻〻〻〻　止

好ゝ〻〻〻〻〻〻〻〻〻　朱

田ゝ乃〻〻〻〻〻〻〻〻　在

ゝゝ菊ゝ〻〻〻〻〻〻〻〻　南

雪〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻　友

京にて三日祇園お宮参り　止
いれんとすれ共中略　朱
俗ものて行ぬ門の元　由
船乃高とれ星崎ゟ　考
博徳ゟれ等打ゟ小僧ゟ　左
苺ゟ乃墨れ四月中自　面
書給的ゟれ書物ゟ　友
可そこ一切ゟ孫帽ゟ　由

加風れ乃ゟ小河年高ハそゞ　考
ゟ乃れ梅の今ゟ　止
ゟ白ゟ乃ゟ義れ　朱
六ゟ乃ゟ行ゟ一日　左
明ゟ乃ゟ流ゟれ　由
一四白一昔乃ゟ　友
芭蕉ゟ乃ゟ　由
乃ゟ乃ゟ三時ゟ　考

[illegible] 止
余[illegible] 生
[illegible] 友
名[illegible] 南
門[illegible] 寺 友
[illegible] 由
帷[illegible] 光
月[illegible] 止

[illegible] 止
[illegible] 友
小使[illegible] 由
[illegible] 光
三
[illegible] 南
[illegible] 友
世[illegible] 止
日[illegible] 蝋 止

寝深く枕の露のみ押す寒　底
あらしなかるゝくもりかな　甫
露けさや村雨さそふ有明の月　老
弱よと細くをこし来川音　由
婦客みなのめしくれ迎かなひ　支
生人あまた琵琶法し包　止
さらくや暁られちれ木の露　未
積そこねらる紙ちり沙ぐ　底

味噌を焼うちに茶つけを喰仕舞　甫
夕されなくをは二階へ拝　支
さるみ隠る百日紅猿をも見　由
いつされあれ乃四や三日　老
振袖なたらしまる着男とよ　止
雲の地形乃窓のそのり　未
あや法も定蘭紙を包うほ気　底
青葉に木くさをれ乃ちらく　甫

日数にはやくみを詰くなく
都えめしく稲乃さびや由
行ちりて雲ちかくなれる友
軍乃中乃生敵双六止
数乃ちかひは雲れ行方朱
門を初打出何くるる左
家豊ニて食ることかりめ地由
と年れ紙ウ之長ちる方

沼飽なるやよけ高れ新江タテ東
ちと角をれを詰て屋風ちる友
ちまちつけりは後とけ物止
むれの祖又ちこれやりい朱
ぬれ角十和れ日望黒氣や在
はちるれ流れ南
雑へまき茶れ中祇遅ちて友
朝ハ月まぬ国加ちる由

毎度人に負ハ居れハ八ツさ鐘　考
何とか云乃惟家守り　止
有明の拍子にぬける暑さ哉　生
秋りぬきれ一夜松風　在
主膳か同しやなれ長十郎　南
卯月形やの京甚あくま　交
むつくりと跳起れ麦乃あらしまて　由
たきいはて居れ鍵掛り付　考

主酒にあらぬ家ま乃鍋汁　止
口惜しきもうに覚めも無く　生
探ではなしか山路行暮　交
植の中に花入りしや鶯　由
盛ハ今里れゐるまでや探ハ　考
新居韻乃柳ゝくらひまと　筆

皇都　諧仙堂　藏板

書肆　浦井德右衛門
　　井筒屋庄兵衛
　　福屋治兵衛

京師三條通升屋町
御書物所
出雲寺和泉掾